

みんなで子育て

号外：夏の在宅型の取組

バックナンバーは
こちらから▶



環境エネルギー生活部 県民生活課
家庭教育推進専門職 : 辻
Tel 058-272-8206

長期の休業日は、親子で過ごすことができる時間がいつもよりつくりやすいため、親子のふれあいの時間をより増やす取組や絆を深める取組をお願いしているところです。県が推進している「話そう！語ろう！わが家の約束」運動の意図を汲んでもらい、園や学校ごとに独自の取組を企画していただいています。本通信では、この夏に在宅型として行われた取組を紹介いたします。

一生のうちに親子が一緒に過ごせる時間は、わずか9年（※）ほどと言われています。しかも、その半分以上は小学校卒業までに過ぎてしまうそうです。親子でふれあえる時間は思っている以上に短いことを頭の片隅に置いておきましょう！（※ 睡眠時間は除く）

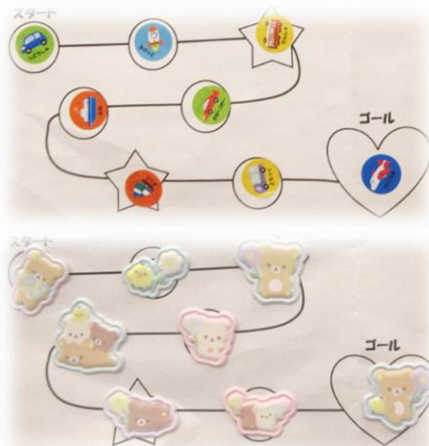
- ・母親が子どもと過ごす時間：約 7年6か月（約65,700時間）
- ・父親が子どもと過ごす時間：約 3年4か月（約29,200時間）

関西大学社会学部：保田時男 教授 の試算 NHK「チコちゃんに叱られる！」でも紹介

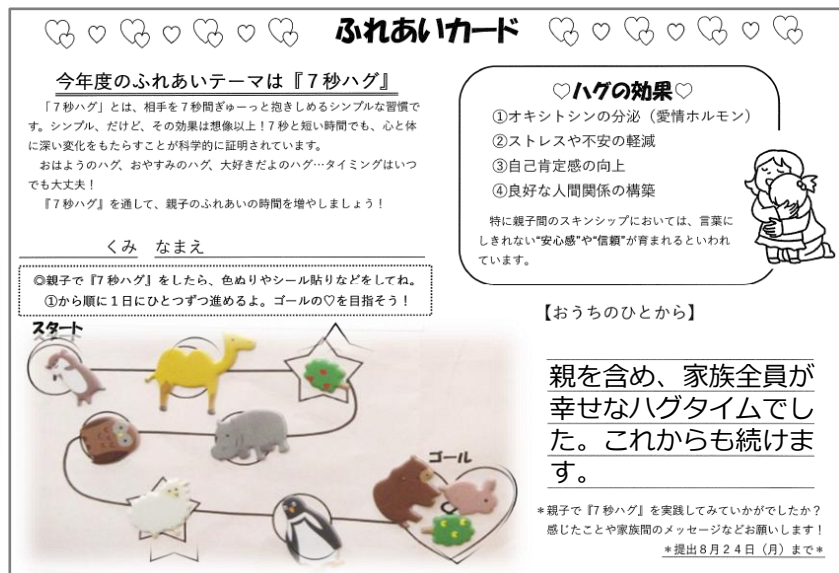
社会福祉法人 真人舎 **かわせみこども園** 「ふれあい 7秒ハグ」 夏休み

かわせみこども園は、開園2年目を迎えた新しいこども園です。同じ敷地内には「子育て支援センター」が併設されており、就園前の多くの親子が利用しています。園では昨年度、「ハイタッチ」や「ハグ」など、親子のふれあいを促す取組を各家庭で実践していただきました。今年度は、その取組を発展させ、相手の体温をしっかりと感じる事ができる「7秒ハグ」に取り組みました。取組にあたっては、その趣旨や方法を記した案内プリントとともに「ふれあいカード」を配付し、各家庭での実践の様子や足跡を記録して提出していただきました。提出されたカードは園内に掲示し、多くの保護者や子どもたち、職員が取組の成果を共有する機会としました。

寄せられた保護者の声からは、「7秒ハグ」の効果を実感されている様子がよく伝わってきました。特別な道具は必要なく、短時間で1日に何度も実践できるこの取組は、子育て中の保護者にとって、親子の絆を深める心強い「子育て術」の一つと言えるのではないのでしょうか。



子どもが喜びそうなシールを貼ったり色を塗ったり、各家庭で工夫して実践の足跡を残されました！



うちのひとから

- ・7秒ハグは、短いようで、しっかりぬくもりを感じることができた絶妙な時間を感じました。少しずつ慣れてきて、子の方から、朝や夜にハグに来てくれることもあり、親としてもとても嬉しいです！
- ・ぎゅーっとしたら楽しかったとニコニコになりました。その後もいつもより機嫌よく過ごせることが多くなっています。自分の言い分が通らない時も7秒ハグで気持ちが落ち着くので、とても効果を感じました。習慣にして、ふれあいの時間を増やしていきたいです。
- ・7秒ハグが大好きなわが子、ママ・パパが仕事に行く時や寝る前、保育園でお別れする時も「ハグやって！」と言ってくれます。英語でも数えられるようになってきました。親としてもとてもうれしいです。
- ・朝のおはようのハグをすると、「今日は何して遊ぶの？」と1日の予定を立て、夜におやすみのハグをすると、「今日は、こんなことして遊んだよ！」とたくさん自分から話してくれました。

本巣幼稚園では、年間10回の活動を計画しています。夏休みは、楽しく健康的に、有意義な休みを過ごせるように、5つの項目について家庭で約束を決めて、毎日の取組の足跡と子どもががんばりを認める親の一口コメントを取組表に記録してもらいました。また、本巣市教育委員会から「食」を通した「家族のふれあい」を形にするための「おやこDEクッキング」の募集があり、多くの親子がこの活動にも参加し、取組表が提出されました。

保護者の声

- ・言われてやるのではなく、自分から自主的に動けるようになりました。やったことのないお手伝いでも、積極的にやろうとする姿が見られるようになりました。
- ・いつもはできないことに怒っていましたが、よいところを探そうと見てみるとたくさんあって、助けられることもあって、よい夏休みになりました。
- ・お手伝いもしてくれるようになって成長を感じました。あいさつも元気にできるようになってすごいと思いました。
- ・お手伝いやあいさつ、家の外での思いやりの行動など、親が知らないところでたくさんできるようになっていてびっくりしました。
- ・歯みがきやお手伝いなど、声かけをしないと動けなかったけれど、気付いて自分から少しずつできるようになってきました。

令和8年度 なつのやくそく

おやこのやくそく 18 日

・あいさつ	大きな声で	
・はみがき	食べたら	
・おてつだい	おかわり	
・こうつうあるをまもる	ごはんの	
・てあらいうがい	はいせん	
	手を上げて	
	右左確認	
	お外から	
	帰ったら	

よいところみつめ

・元気に「おはよう」とあいさつができたね

※左図の例を参考にいただき、規則正しい生活が送れるようにしてください。
※「おうちのかたから」のコーナーには、休みを振り返り、感じたことを記入してください。
※ラジオ体操カードも配布しますので活用してください。
※やくそくひょうは9月1日(火)に提出しましょう。

歯みがきができたなら塗りましょう。

親子で話し合って、続けられそうなことを決めましょう。

守れた日は、色を塗って、一緒に確認し合いましょう。

感染症予防のため、こまめに行いましょう。

一日を振り返って「がんばったね。」「進んでできたね。」「ステキだったね。」「と、感じたことや、誓ってあげたいことなど記入してください。また、「今日はこんなことがあった。」と、日記のように記入されてもよいです。

各務原市立蘇原第二小学校

「お手伝いチャレンジビンゴ」

夏休み

蘇原第二小学校では、「仕事の大切さを学び、家族の一員としての役割を果たす」ことは、子どもが成長するために大切な学びの一つであると考えています。そのため、家族で話し合っ「お手伝い」の内容を決め、実践できたら好きな色をマスに塗ってビンゴを完成させていく「わが家の約束」運動の取組を行いました。

事後アンケートでは、「子どもの意識が変わった」と感じた家庭が86%、「コミュニケーションを深めるきっかけになった」と回答した家庭が96%でした。

また、「家族で決めた約束を今後も続けたい」と回答した児童は77%に上りました。

本活動が、子どもたちの家庭での自己有用感を育むとともに、家族のつながりを深める有意義な取組となったことが分かります。

親と子どもの感想

- ・仕事をしながら家事もしていることを説明しながらお手伝いを決めました。「いつもありがとう」と自然に口にするようになりました。よい経験になったと思います。
- ・進んでお手伝いできることを探したり、相談しにきてくれたりしました。嬉しかったです！
- ・今までやったことのないお手伝いにも取り組んで、難しいことにも進んで挑戦しました。(小4)
- ・せんたく機を動かすことができるようになって、お母さんに「やってもいいよ!」と言われるようになって、うれしかったです。(小2)
- ・親に言われなくても自分で気づいて、進んでやっていきたいです。(小5)

「話そう! 話そう! わが家の約束」 親紙カード

～家族の一人としておうちの仕事をしよう～

名前 _____

お家のひととお仕事を決めてね!
お仕事をしたら色をぬってビンゴを完成させよう!

しゅき片づけ 1回	はいせん 3回	せんたくほし 1回
お皿洗い 3回	せんたくたたみ 2回	ごはん作り 3回
お米とぎ 2回	お花の水やり 3回	部屋の片づけ 2回

取組んだ感想や家族への思いを書きましょう

お子さんへの励ましや言葉をお願いします

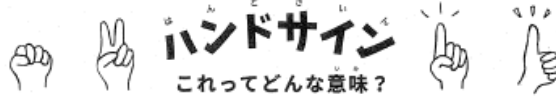
子どもから家族へのメッセージ
お手伝いをするの、気持ち
がよくなったり、喜んで
もらえたのがうれしかった
よ。夏休みが終わっても、続
けていこうね!

保護者から子どもへのメッセージ
自ら気付いてお手伝いしてくる姿が
うれしかったよ。これからも手伝いする
ときに、声をかけてくれるといいね。
よろしくね!

羽島市立小熊小学校 「ハンドサイン～これってどんな意味?～」 夏休み

小熊小学校では、「ハンドサイン」を親子で調べる取組を行いました。生活の中で、正しく意味を理解せずに使っているハンドサインがあり、トラブルにつながる場合があるため、仲間との良好な関係の維持とトラブル防止を願い、あえて2年連続で実施されました。報告書は委員長さんが作り直され、記載内容を明確にしたため、報告内容も昨年より充実したようです。

全ての報告書に目を通された委員長さんは、各家庭での取組の様子に感心されていました。



ハンドサイン

これってどんな意味?

声を出さずに相手に気持ちを伝えることができるハンドサイン。
自分がよく使うハンドサインにどんな意味があるのか調べてみよう!

こんなサインを見つけたよ! こんな意味だったよ! 国によってこんな風に意味が違ったよ!
など、ハンドサインについて発見したことを書いてね!

調べたことや発見したこと



このハンドサインは、世界共通のSOSを表すサインです。

まず手をパーにして、次に親指だけ曲げて、最後に全ての指を曲げてグーにします。

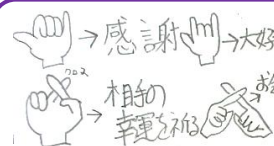
調べた感想

この取組は2回目だけど、今回調べたハンドサインは初めて見て、こんなサインがあるんだと思って、もし何かあった時は、使いたいと思いました。

お家の方からのメッセージ

知っていることで、いざという時に役立つと思います。他のサインも興味をもって調べられるといいと思います。





→感謝 →大嫌

→相手の幸運を祈る →お祝い

→フランス・ブラジルでは侮辱の意味

→ギリシャでは「たばこ」という意味

→インドネシアでは「最後、一番いざなり」中国では「無能者、偉大な人」

国によっても伝わり方が変わるから、よく聞いてみることは、ハンドサインのこと、しるべおいた方が良さそう。

お家の方からのメッセージ

他国で、意味が違うなんて、びっくり。
気をつけよう。これからは、深く考える。これからも、調べてほしいです。



調べたことや発見したこと

①中指をたてるサイン
木目手を強いていっぺんぶくする意味にはない。せめていっぺんはいいじゃない!

②親指を下に向けたサイン
「ブーイング」や「はい、はい」でよく使われる。強い意志、ぶくくを表すので、せめていっぺんはいいじゃない!

③人さし指で人をさすサイン
木目手をいっぺん気持ちにさせるしついでに、あたるので、せめていっぺんはいいじゃない!

人さし指で人をさすをむいしきにやってしるうのでこれから気をつけたいです。

お家の方からのメッセージ

「人さし指で人をさす」は、この機会に改めて「人さし指」を「人さし指」に合わせるようにしてほしいです。



岐阜市立長森中学校 「話して聴いて深めるわが家の絆」 夏休み

夏休みのひと時、家族と顔を合わせながら話をして、家族みんなの絆を深める時間をつくりませんか。その一つのきっかけとして「1家庭1ボランティア」または「～家族で話そう! 我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～三行詩募集」のどちらかに取り組んでみましょう。(案内文からの抜粋) 長森中学校では、岐阜県道徳教育推進会議・岐阜県教育委員会、日本PTA全国協議会が推進している取組を、在宅型家庭教育学級として活用されました。

Let's Challenge! 命 夢・希望 自信

1家庭1ボランティア チャレンジカード
～心がつながる!～

1年 組 番 氏名

【 チャレンジするボランティア 】

お祭りのバザー

【 実施日時 】

月 日 () : ~ :

【 活動したこと 】

お祭りでの出店 かき氷の販売

【 活動を振り返って 】

ただシロップをかけるだけだから簡単にできそうだと思っていたけど、シロップをバランスよくかけるのが難しく、たくさんの人が来るので、忙しかったです。毎年当たり前のように氷を食べていたけれど、これからは作ってくれた人に感謝して食べたいです。

【 おうちの方から 】

初めて、売る側に立ったことで、気がつくことがたくさんありました。がんばって働く姿を見て、成長を感じました。かき氷、おいしかったです。きっと他にも喜んでいて人がいると思います。

【家族で公民館そうじ】(ごみを拾う、草をとる)

- ☐ 公民館そうじが終わった後、とてもきれいになっていたのでうれしかったです。
- ◇ 暑い中、お掃除ありがとう。朝早く起きて頑張っている姿を見て大きくなったなと感じました。家の手伝いもよくしてくれて本当にうれしいです!! また、家族でいろんなことしようね!!

【ゴミ拾い】(近所のゴミ拾い)

- ☐ いつもは歩いていても気付かないけれど、意識して見るとたくさんゴミがありました。ゴミ拾いをするとういことをしたと感じ、気分もよいです。
- ◇ 地域のゴミ拾いをするので、たくさんゴミがあることに気づけたようです。自分から地域をきれいにする活動ができてよかったと思います。これからも周りのことを考えて行動してほしいです。

【家族のきずな三行詩】

あったかいごはん
たたまれた洗濯物
いつもきれいな部屋
当たり前だと思ってる?
一緒にいる時間は短いから
後悔ないようにしよう!



岐阜市立島中学校 「親子で楽しもう！おうちでCooking！」夏休み

島中学校では毎年夏休みに、親子で会話し家族でふれあう企画として「おうちでcooking！」を行っています。料理の参考資料として、生徒用貸与タブレットのチャットアプリに、学校給食人気レシピ集へアクセスできる二次元コードを事前配信しています。もちろんこれ以外のメニューに挑戦することも可能で、取組の報告は電子データでも紙面での提出も可とするなど、気軽に参加できるようにしています。

【さつまいもタルト】

祖父母の家に「さつまいも」があって、家族に美味しいお菓子を作りたいと思い挑戦しました。舌触りが滑らかになるように意識し、見た目や味がよくなるようにレーズンを飾りました。家族が「おいしいね」と言ってくれ、作ってよかったなと思いました。（中1）



【明太子クリームパスタ】

パスタにハマっていて作ってみました。炒め方によって食感や味が変わるので、次からも工夫して作ってみようと思います。（中3）



【思い出のメルトサンド】

昔、ディズニーで家族と食べた思い出の味の再現に挑戦しました。家族も「美味しい」と喜んでくれたのでよかったです。（中3）



【カレーライス】

家族全員がカレーが好きなので作ってみました。灰汁を丁寧にとり、コンソメを入れて煮込んだりして、意外と時間がかかったけれど、おいしく作れたのでよかったです。（中1）



【サンドウィッチ】

「美味しい」と思ってもらえるものを作りたくて、サンドウィッチをオーブンで焼いた後にレタスを挟み入れ、シャキシャキとした食感を残しました。（中3）



家族内の会話を増やす在宅型の取組の参考例

家族の会話が増えるようように、何か工夫したいものですね！子どもたちが自分から話しくなるように遊びの要素も含めながら、日常的に、または定期的に実施してもらえるとよいと考えます。9つの活動例をご紹介します。

①「今日のよかったこと・うれしかったこと」

家族の知らない一面を発見できるかもしれません！

②「3択クイズ」

例「今日、先生に褒められたことは何でしょうか？」「ア:算数、イ:掃除、ウ:あいさつ」

③「家族にインタビュー」

例「子ども頃の夢は何だった？」「好きな教科は何だった？」新しい発見があるかも！

④「今日のニュース1分トーク」

テレビニュースや新聞記事から1つ取り上げて意見交流 情報に敏感になれるかも！

⑤「冬（夏）休みにしたいことランキング」

家族の願いを知り、実現できるように計画を立ててみてください。

⑥「今年、一番心に残ったこと」

お互いの報告を聞き、心の内を知ったり、成長を感じたりできるのでは！

⑦「家族で選ぶ今年の1枚」

家族写真の中からベストフォトを選定 プリントアウトして1年間家内掲示してみても！

⑧「今年（今年度）がんばりたいこと」

新年や新年を迎えたときの決意表明 お互いを応援！ 認めの声掛けが増えると…。

⑨「ありがとうカード（または、がんばったねカード）」

家族みんなへの個別メッセージカードの交換 普段、伝えられていない感謝の気持ちを！

前文で書かせていただきましたが、家族がそろって生活できる時間は限られています。今この時を大切にしてください！